

碧南市人口ビジョン 碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略



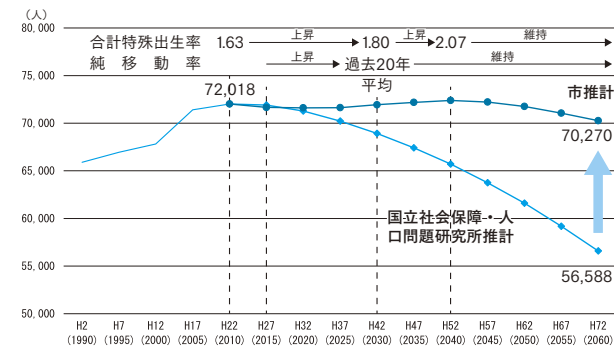
急速な少子高齢化の進展と地方の人口減少、東京圏への人口の過度の集中といった問題を背景に、平成26年（2014年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、国と地方が一体となって、まち・ひと・しごと創生に総合的に取り組むこととなりました。

市は中長期的視点に立って碧南市のまち・ひと・しごとの創生に取り組むために総合戦略推進会議で幅広い意見を聴取し、人口の現状や将来の展望を示す「碧南市人口ビジョン」と今後5か年の目標や施策の基本的方向性、具体的施策をまとめた「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

碧南市人口ビジョン

市の人口は、平成20年（2008年）をピークに減少傾向です。人口増加のピーク前の平成12年（2000年）～20年（2008年）に土地区画整理事業などの宅地開発により人口の伸び率が急伸し、転入超過となりましたが、リーマンショックの影響などで特に外国人の転出が続いたことにより人口が減少し、転出超過の傾向です。

【人口の将来展望】



人口の移動について、西尾市や安城市など同じ西三河地域の近隣自治体への転入・転出が比較的多くなっています。なお、転入・転出ともに、仕事を理由に移動する人が多く、仕事のほかには20歳代後半～30歳代の結婚を理由とした転出も多くなっています。また、通勤や通学による流入流出についても、転入・転出と同様に、同じ西三河地域の近隣自治体への流入流出が比較的多くなっています。

一方、出生について、合計特殊出生率は全国平均や県平均よりは高いものの、近隣自治体が近年増加傾向となるなかでほぼ横ばいとなっており、出生数についても減少傾向です。

これらのことを踏まえ、長期的に人口の減少傾向に歯止めをかけ、活力あるまちを維持するために、「碧南市人口ビジョン」において、平成72年（2060年）の人口で7万人維持という将来目標を設定しました。

碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、市の現状および人口ビジョンを踏まえ、安定した雇用の創出、結婚・出産・子育て環境の充実など、人口減少に関する課題に的確に対応するために、以下の4つの基本目標を掲げ、これらを実現するための具体的な施策に取り組んでいきます。

基本目標1 しごとづくり

市の特徴でもある製造業を中心とした産業集積を生かし、革新的な技術の創出や成長産業への展開を促進するとともに、衣浦港を拠点とした物流機能を強化することで、生産性・利便性の向上を図ります。また、農水産業の競争力の強化を進め、幅広く質の高い「しごと」を創出し、安定的な雇用を生み出します。



数値目標	基準値	目標値
就業者数	38,493人 (22年10月)	38,500人 (32年10月)
新規起業・開業数 (年間)	67社 (26年度)	70社 (31年度)

具体的な施策 企業留致・誘致、販路拡大、産業防災力の強化、産業基盤の充実

主な重要業績評価指標（KPI） 企業訪問数、支援した企業が新たに獲得した取引先件数、避難マニュアル作成完了エリアなど

基本目標2 新しい人の流れづくり

市が持つ独自の魅力を磨き上げ、効果的に発信し、認知度を高め、人を呼び込む流れをつくり出します。



数値目標	基準値 (26年度)	目標値 (31年度)
転入超過数（年間）	△17人	70人
観光入込客数（年間）	2,481,459人	2,500,000人

具体的な施策 碧南ブランド力の向上、観光強化、移住・定住の促進、住環境の整備

主な重要業績評価指標（KPI） ふるさと応援寄附金パートナー企業数、市内宿泊者数、新築家屋課税戸数など

基本目標3 結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代や女性が輝ける場の拡大を図るとともに、結婚の意志がある若者をサポートし、夫婦が希望する時期に安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくり出します。



数値目標	基準値	目標値
婚姻数（年間）	336組 (26年)	370組 (31年)
出生数（年間）	591人 (26年)	634人 (31年)
合計特殊出生率	1.63 (20～24年)	1.80 (42年までに)

具体的な施策 結婚・出産・子育て環境の整備、子どもが学ぶ環境の充実

主な重要業績評価指標（KPI） 支援した交流イベントなどの開催数、不妊治療助成件数、学校生活の満足度など

基本目標4 元気あふれる地域づくり

だれもが健康で安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、地域の人材を生かし、元気あふれる地域づくりを進めます。また、近隣市などとの広域事業を推進し、市民の利便性の向上を目指します。



数値目標	基準値 (26年度)	目標値 (31年度)
保健・医療に関する満足度	70.4%	75.0%
市民協働に関する満足度	62.0%	70.0%
スポーツに関する満足度	67.3%	80.0%

具体的な施策 健康寿命の延伸、スポーツの振興、市民協働の推進、広域連携の推進

主な重要業績評価指標（KPI） 老人クラブ会員数、スポーツ施設の満足度、ボランティア登録団体数など